

北区の銭湯

北村 栞里

(2018年入学 鈴木ゼミ2期生)

銭湯は私の大学生活を有意義にしてくれたものの一つである。北区には多くの銭湯が存在している。一般的に、銭湯は若者とかけ離れたイメージが強いかも知れない。しかし私は銭湯やサウナの魅力を知り、大学生などの若者に是非行ってみたいと感じている。そのために私が実際によく行く北区を中心におすすめする銭湯とその理由を伝えたいと思う。

最初に紹介するのは紫野温泉である。大宮商店街の途中で右に曲がると出てくるこの銭湯は私が北区に住んで始めて言った銭湯でもあり、一番通っている銭湯だ。この銭湯は他に比べ若者を多く目にする。その原因は綺麗な休憩所とアットホームな雰囲気だと思う。お風呂やサウナは熱めであり、石に囲まれた露天風呂はとてもお気に入りの場所である。この露天風呂では友達と多くのことを話した。話に夢中でのぼせそうになったら涼み、寒くなればお湯につかりを繰り返し、ずっと話をしていたのはとても思い出に残っている。なぜあんなにも話が出てくるのか不思議に思うが、それも銭湯の魅力の一つと感じる。また夏に期間限定でおかれる多種類のご当地サイダーは全種類制覇したくなるわくわく感がある。

紫野温泉の光る看板



次に紹介する銭湯は船岡温泉である。船岡温泉は国の有形文化財に登録されており、タイムスリップした様な感覚を味わえる由緒正しい銭湯である。元々は大正12年から料理旅館として始まり、今でも脱衣所には当時の天狗と義経の彫刻があしらわれた漆塗り格天井や第一次上海事変をモチーフ西田欄間など風呂屋とは思えない豪華な姿が伝わっている。また船岡温泉は日本初の正式に電気風呂を始めた銭湯であり現存最古のものである。私はこのような歴史を知らずに訪れた。しかし門構えから脱衣所の華やかなタイル、番頭のおばちゃんが少し怖かったことを含め、今までに行った銭湯にはない迫力を感じた。昔は浴槽がない家庭が多かったかも知れないが、今はそうではない。それでもここまで長い間残っているというのは街の人に愛されて必要とされ続けているからなのだと思う。

船岡



温泉の脱衣場の写真(HP参照)

銭湯の利用者は昔に比べ減っているが、新しい形で成り立つものもある。それが銭湯カフェのさらさ西陣という店だ。廃業した銭湯・藤森湯をそのまま再生している。緑の鮮やかなタイルで埋め尽くされた店内はとてもかわいいく、銭湯特有の高い天井が他のカフェにはない解放感を感じさせる。私はお昼にその店でケーキを食べたが、夜は生の演奏を聴けるご飯屋さんに変貌する。銭湯特有のよく響く壁に音が反響してとても魅力的である。ここまで銭湯のつくりを生かしていることは素晴らしいと感じた。

ここで私が感じる銭湯の価値をまとめたいと思う。一つ目は「楽しみ」になるということである。他にも紹介したい銭湯がたくさんあり、どれも見た目、雰囲気、サウナやお風呂

呂の熱さ、お客さんや番頭さんの人柄まで異なる。そのため新しいところを開拓していくのがとても楽しい。またサウナに行って、お風呂につかって、お風呂上がりには絶対にコーヒー牛乳を飲むというような自分だけのルーティンを見つけることも楽しみの一つだ。このような楽しみは北区に銭湯がたくさんあるからこそでの物であると感じる。



二つ目は「人間関係」である。私は銭湯に行く時ほとんど友達を誘う。そんなときなぜか話が止まらなくなるし、悩みごとをたくさん聞いたり聞いてもらったりしている。ときどき地域の常連さん同士が「またね」とか「おやすみ」などと話しているのをよく耳にする。ご近所づきあいや孤独死が社会的な問題となっている今、些細なつながりも大切なのではないかと思う。このように銭湯は世代を問わずコミュニティの場として大きな価値をもつと感じた。

三つ目に「自己のメンテナンス」である。肩こりが治るとか代謝が上がるなど身体のメンテナンス効果はもちろんであるが心のメンテナンスにも多大な効果があると感じる。一時的に携帯やSNSから離れることによって現実から離れる時間が出るし、逆に現実の自分と向き合うことも出来る。私は銭湯にいき、自分のことを見つめ直し、考える時間をもつことで、頭の中を整理することがある。そのような時間はSNSや周りとのつながりが絶えない学生の生活でとても貴重と感じる。北区には多くの学生が住んでいるため一人暮らしの学生の人や毎日の生活で心に余裕がなくなっている人にぜひ銭湯に行って欲しい。

このように銭湯の価値はお風呂に入るという表面的なものだけではなく、北区の銭湯は多くの理由で世代を問わず愛されている。歴史を感じる古いものと現代に合わせて新しい形となったものが存在している北区の銭湯は学生と高齢者が共存するこの街の様である。私は友達と銭湯に行く時間がとても好きだし自分の生活で大切なものであり、学生時代の思い出として残ると思う。北区の銭湯がこれからも地域のつながりの場、学生生活の楽しみや支えとなって存在し続けて欲しい。